

REFINITIV. リフィニティブ



担当=DZHフィナンシャルリサーチ・石原敬子

Refinitiv(リフィニティブ)はロンドン証券取引所グループ(LSEG)傘下の金融情報提供会社です

知りたい

投信 なるほど
リッパー

私が考える投信選びのポイント

人それぞれで違うお金の育て方

資産形成をするにあたって、「どんな運用をしたら良いか」と聞かれると、無責任かもしれませんが、私は「あなたの好きなようにしたらいい」と返答しています。お金の育て方は、その人の現実的な状況や人生観によってまちまちです。洋服やランチを選ぶように、ご本人の好みや手持ちの服、昨日食べたメニューなどを聞かないと、適切なアドバイスができません。今回は、読者のみなさんが、ご自身に合う投資信託を選ぶた

めの三つの観点をお伝えしましょう。

まず一つ目は、自分を知ることです。現在の収入と支出、金融資産、今後の収支の予定などです。ここから、運用に回せる金額を導いたり、取れるリスクの大きさを予測したりします。また、性格や自分の状況も大事です。資産が目減りしたらどう感じるか、生活に影響があるか、などを考えてみましょう。

二つ目の観点は、お金を育てる環境です。世界の出来事

すべてが、大なり小なり反映します。現在は、米国の金融政策と、ロシアのウクライナ侵攻が大きく影響しています。これらを受けて、物価や企業の業績、景気全般にも波及するなど、多くのことが投信の価値に反映しています。

三つ目の前に、「自分に適していない」「嫌だな」と思うお金の育て方を考えてみましょう。例えば、値動きが大きすぎる、新興国などの判断は難しい、理解できないしくみは避けたい、といった素直な気持ちは大切です。

ここで「いいな」と思う投資方針が思い浮かぶかもしれませんが。「投資したお金が3割減るのは嫌だけど、2割までなら許容範囲」とか、「世界経済に幅広く投資してリスクを抑えたい」「預金と違うから、高い利益を求めたい」などの考えが生まれたらしめたもの。

三つ目の観点は、投信を知ることです。約5900本もある中から選ぶには、自分のこだ

わりを決めておくと良いでしょう。多くの人が重視する判断基準は、「残高が多い、または解約が少ない」「過去の運用成績が安定、または他より優れている」「投資対象が魅力的」「手数料が低い」「運用の説明などアフターフォローが充実」など。

これらの情報は、投信の運用会社や取り扱い金融機関のWEBサイトからダウンロードできます。おすすめは「月次レポート」=表。運用担当者の愛が伝わる内容のものから事務的なものまで、運用会社によって特徴が分かります。投資初心者でも読みやすいと思います。運用の目的を読み、共感できる投信を選ぶのも良いでしょう。これらの資料を積極的に活用して、あなたに合うお金の育て方を見つけてください。



「知りたい投信～なるほどリッパー」は最終回です。ご愛読ありがとうございました。

■投資信託を深く知る資料はこれ！

資料名	概要と記載内容
投資信託説明書(目論見書)	「交付目論見書」は約款の主な内容。「請求目論見書」はその全文。ファンドの目的や特色、投資対象、リスクやコスト、購入や換金の方法など
月次レポート	直近の運用状況を毎月、情報発信している。運用会社ごとに見せ方に工夫も。運用実績や今後の見通し、運用担当者からのコメントなど
運用報告書	決算期ごとまたは6カ月に1度発行される。「交付運用報告書」は重要項目のみ、「運用報告書(全体版)」には詳しい内容が。運用経過や運用方針の説明、約款変更などの重要事項など